

第2期

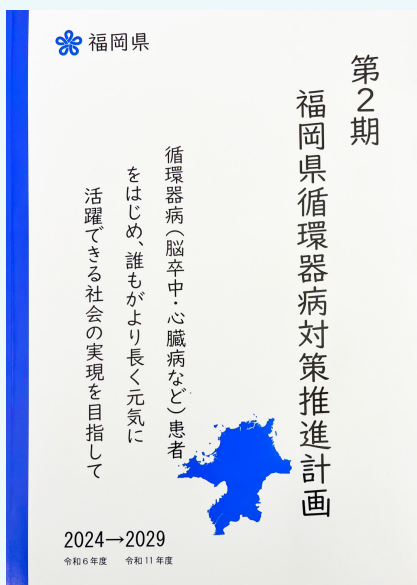
福岡県循環器病対策推進計画 策定（報告）

福岡県循環器病対策推進協議会 委員
一社) 福岡県言語聴覚士会 会長
大内田 博文

健康増進の観点から、循環器病（脳血管疾患、心臓病）に対する対策が全国で強化されており、福岡県においても循環器病対策推進協議会が発足されました。

2023年度にはリハ三職種を協議会のメンバーに加えていただきました。「平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加および循環器病の年齢調整死亡率の減少」を目標に、リハ専門職の立場から循環器病対策について意見を出させていただきました。

この度、2024年～2029年の6年間を計画期間とする第2期 福岡県循環器病対策推進計画が策定されましたので報告します。



循環器病

我が国において、脳卒中や心臓病などの循環器病は、悪性新生物に次いで第2位の死亡原因であり、県民の生命と健康にとって重大な影響を及ぼす疾患となっている。

循環器病は生活習慣の改善等により、一定の予防が可能である。

取り組むべき施策

本計画書において、「高齢化の進行や生活習慣病の増加、医学や医療技術の進歩等により、リハビリテーションに対する需要は増大し多様化している」と記載されている。

今後、益々、リハビリの需要拡大が予想され、理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士の養成及び確保に努める必要がある。

また、病状・病期に応じたリハビリが提供できるよう関係機関と連携した研修会等を開催し、資質の向上を図る。

後遺症への支援

脳卒中後の失語症等の後遺症により意思疎通を図ることに支障のある人の意思表示やコミュニケーションを支援するため、失語症者向け意思疎通支援者による支援を行う。

在宅歯科医療と連携した摂食・嚥下リハビリテーションを推進する。